

Trimble Geomatics Office™

リリースノート

- 製品情報
- 取扱説明書への変更



バージョン 1.6
改訂版 A
2002年 4月

本社

Trimble Navigation Limited
Engineering and Construction Division
5475 Kellenburger Road
Dayton, Ohio 45424-1099
U.S.A.
Phone: +1-937-233-8921
Fax: +1-937-233-9441
www.trimble.com

著作権と商標

© 2002, Trimble Navigation Limited すべての著作権は Trimble Navigation Limited が所有しています。

ソフトウェアは STL サポートに Moscow Center for SPARC Technology 版の SGI Standard Template Library を使用します。© 1994 Hewlett-Packard Company、© 1996, 97 Silicon Graphics Computer Systems, Inc.、© 1997 Moscow Center for SPARC Technology 地球儀と三角形のロゴや Trimble、DTMLink、Roadlink、Trimble Geomatics Office、Trimble Survey Controller、WAVE は Trimble Navigation Limited の登録商標です。

Elta は Trimble Navigation Limited の登録商標で、United States Patent and Trademark Office に登録されています。

その他すべての登録商標の所有権は、それぞれの所有者に帰属します。

リリースノート

本書は 2002 年 4 月リリース（改訂版 A）の *Trimble Geomatics Office* リリースノートです。これらは Trimble Geomatics Office™ ソフトウェアのバージョン 1.6 に適用されます。

ソフトウェアとファームウェアライセンス 有限保証

トリンブル社のソフトウェアと/またはファームウェア製品（以下、ソフトウェア）は使用ライセンスが発行されたのであって、売却されたものではありません。その使用は、ソフトウェアと一緒に含まれる（存在する場合）、該当する最終消費者ライセンス契約（EULA）の条項によって支配されます。異なる有限保証条件や除外、制限を提供する、別の EULA がソフトウェアに含まれていない場合には、以下の条件が適用されます。トリンブル社は、この Trimble ソフトウェア製品が配達日から数えて 90 日間はソフトウェアに対する、発行された仕様書に事実上一致することを保証します。

賠償保証

上に示された保証の下でのトリンブル社の単一の責任とあなたの唯一の賠償については、トリンブル社が選択します。トリンブル社の標準返品商品過程に従ってトリンブル社にその不良品が返還されてから、この保証に一致しない製品やソフトウェア（以下、不良品）はすべて交換または修理されるか、またはそのような不良品に対して支払われた購入価格を払い戻します。

保証免責

こういった保証は以下の出来事においてと以下のような範囲内でのみ適用されます。
(I) 製品とソフトウェアはトリンブル社関連のオペレーターマニュアルや仕様書に従って適切にかつ正しくインストール、設定、インターフェイス、保管、管理、操作されました。かつ (II) 製品とソフトウェアは改造・誤用されませんでした。先述の保証は、以下を基礎とする保証違反のあらゆる申し立てに適用しません。かつトリンブル社はそれに責任を持ちません。(I) トリンブル社によって製造、提供、特定されたのでない製品や情報、データ、システム、装置と一緒に、製品やソフトウェアの使用や結合、(II) その製品に対するトリンブル社の標準仕様書以外の、またはそれと一緒に別のあらゆる仕様書の下での製品やソフトウェアの操作、(III) 製品やソフトウェアの無認可の改造や使用、(IV) 事故や落雷、その他の放電、淡水または海水への投入や吹付けによって起きた破損、または (V) 消耗部品（例、電池）の通常の消耗。

上記の保証は、製品やソフトウェアの性能に関するトリンプル社の全責任、かつ、あなたの唯一の賠償を記しています。ここに明白に記されたのでなければ、製品やソフトウェア、それに付随する書類や付録をありのままの状態 で供給し、Trimble Navigation Limited によるか、その製作や製造、インストール、流通に携わった人たちによるあらゆる種類の明白または言外の保証は存在しません。これは、特定目的や題目、非侵害に対する商品性や適合性の言外保証を含みますが、それだけに制限されません。明記された保証は、あらゆる製品やソフトウェアに関連する、またはそれから発生したトリンプル社の担当する責任や義務のすべてを代行します。州や司法権によっては言外保証の除外や期間制限を許可しないために、上記の除外事項が適用しないこともあります。

Trimble Navigation Limited は、GPS 衛星の操作や操作の失敗、GPS 衛星信号の有効性に関しては責任を持ちません。

有限責任

ここでのあらゆる条項の下でのトリンプル社の全責任は、製品やソフトウェアに対して支払われた金額か 25.00 米ドルのどちらか大きい方を上限とします。適用される法に許される最大範囲までは、トリンプル社とその提供者はあなたに対して、あらゆる種類の、かつあらゆる状況下、かつその製品やソフトウェア、それに付随する書類や付録に何らかの形で関係する法的論理下でのあらゆる間接、特別、または結果的損害に対する責任を負いません。（これには、事業利益の損失や事業の中断、事業情報の損失、その他のあらゆる財政上の損失に対する損害を無制限で含みます。）それは、トリンプル社がそのような損失の可能性を示唆したかどうかや、あなたとトリンプル社との間で進展中か進展した取引の経過に影響を受けることはありません。州や司法権によっては偶発または結果的な損害に対する責任の制限や除外を許可しないために、上記の除外事項はあなたに適用しないかもしれません。

製品情報

このセクションでは、*Trimble Geomatics Office* ユーザーガイド、バージョン 1.6 の発行後に発生した Trimble Geomatics Office ソフトウェアへの変更の詳細に関して説明します。

コンピュータのハードウェアとソフトウェア必要条件

表 1.1 は、Trimble Geomatics Office を正しくインストールして使用するために、ご利用の PC に必要な条件を示しています。

表 1.1 ハードウェアとソフトウェア動作の必要条件

構成機器	最低条件	推奨条件
CPU	Pentium 150 MHz	Pentium 266 MHz
RAM	32 MB	128 MB
ハードディスク	典型的インストールには 317 MB 必要	
モニター	SVGA カラー 800 x 600	XGA カラー 1024 x 768
ポート	16550 UART を持つ RS232 ポート	
データドライブ	CD-ROM ドライブ、または DVD ドライブ	

表 1.1 ハードウェアとソフトウェア動作の必要条件

構成機器	最低条件	推奨条件
入力機器	キーボードとマウス / トラックボール	キーボードと Microsoft インテリマウス
ソフトウェア	以下の Microsoft オペレーティングシステムの1つ Windows 98 Windows Me Windows NT バージョン 4.0 以降 Windows 2000 Windows XP または ウェブブラウザ (HTML ビューア)	以下の Microsoft オペレーティングシステムの1つ Windows 98 Windows Me Windows NT バージョン 4.0 以降 Windows 2000 Windows XP または Microsoft Access 2000 Microsoft Internet Explorer バージョン 5.0 以降

ソフトウェアのインストール

バージョン 1.6 をインストールする前に、コンピュータから Trimble Geomatics Office 1.5 ソフトウェアをすべて除去します。それには、バージョン 1.5 のデモ版ソフトウェアも含まれます。バージョン 1.5 ソフトウェアをアップグレードしたい場合には次のセクションを参考にしてください。

ノート : *Microsoft Windows NT* か *Windows 2000*、*Windows XP* にソフトウェアをインストールするには、管理者権が必要です。

Trimble Geomatics Office 1.5 か 1.0 からのアップグレード Trimble Geomatics Office 1.6 へアップグレードする場合にはインストール中にそれ以前のバージョンがインストールされているかをソフトウェアがチェックします。それが見つかった場合にアップグレードの過程は進行します。

しかし、以前のバージョンが見つからない場合には、以前のインストールでの Trimble Geomatics Office のシリアルナンバーとキー、そして必要に応じて WAVE™ 基線処理モジュールと網平均モジュールキーを入力する必要があります。

WAVE 基線処理モジュールと網平均モジュールのインストール
WAVE 基線処理モジュールか網平均モジュールを Trimble Geomatics Office と一緒に購入した場合には、そこで提供されたキーを入力します。

Trimble Geomatics Office を購入、インストール後に WAVE 基線処理モジュールか網平均モジュールを購入した場合には Trimble Geomatics Office インストール過程をもう一度開始します。Trimble Geomatics Office をインストールし直すこともできれば、単にモジュールを追加することもできます。

インストールについて

このセクションでは、インストールに関するいくつかの重要事項を説明します。

Microsoft Windows 2000 か XP で Trimble Geomatics Office を使用

ユーザー（パワーユーザーでない）が特徴・属性エディタや Roadlink™ ユーティリティ、DTMLink™ ユーティリティを使用したい場合には、管理者権を持つ人がそれらのユーティリティを最初に実行する必要があります。

マルチユーザー / ネットワーク上にインストール

ユーザーが必要許可を得ている場合には、Trimble Geomatics Office をネットワークドライブにインストールすることができます。しかし、Trimble Geomatics Office はそれがインストールされているコンピュータでのみ正しく作動します。

Trimble Geomatics Office はマルチユーザーのためのインストールをサポートしません。

Trimble Survey Controller ソフトウェアのインストール

Trimble Survey Controller™ インストール用 CD を実行する前に Trimble Geomatics Office をインストールする必要があります。

Trimble Geomatics Office のアップグレード

Trimble Geomatics Office の以前のバージョンからアップグレードする時に、ソフトウェアの以前のバージョンを除去しないと、いくつかのファイルはバックアップされます。

以下のファイルは、拡張子 *.bak を伴うように名前変更されます。

- ProjBar.csv
- Current.csd
- Antenna.ini
- Receiver.ini

以下のファイルは、Program Files\Trimble\Trimble Geomatics Office\System\Backup directory にコピーされます。

- Symbols.sym
- LineType.ltp
- AsciiRpt.dat
- AsciiImp.dat
- AsciiExp.dat

標準プロジェクトテンプレートは、Program Files\Trimble\Trimble Geomatics Office\Template\Backup directory にコピーされます。

Trimble Geomatics Office の以前のバージョンでカスタマイズした情報の使用に関しては、次のセクションを参照してください。

Trimble Geomatics Office 1.5 でカスタマイズした情報の使用

Trimble Geomatics Office 1.5 でカスタマイズした以下のファイルは、バージョン 1.6 でも使用可能です。

- .frm - 平面図フォーム定義
- .fcl - 特徴・属性ライブラリ
- Current.csd - 現存する座標系とユーザー定義の座標系を含む座標系データベース (サイト、測地系変換、楕円体、ジオイドモデルを含む)
- Symbol.sym - 記号ライブラリ
- Linetype.ltp - ラインタイプ ライブラリ

Trimble Geomatics Office 1.6 ではデータベースの表と列の構成 (スキーマファイル) が更新されたために、バージョン 1.5 の以下のファイルはサポートされません。

- ASCIIrpt.dat - レポートフォーマットファイル
- ASCIIimp.dat - ASCII インポート定義ファイル
- ASCIIexp.dat - ASCII エクスポート定義ファイル
- \Templates¥<Template>*. * - プロジェクトテンプレート
- MS Access reports - Microsoft Access で定義されたデータベースレポート

バージョン 1.6 で ASCIIrpt.dat、ASCIIimp.dat、ASCIIexp.dat ファイルを使用することはできませんが、そこで定義されたフォーマットには Trimble Geomatics Office 1.6 に適合するものもあります。バージョン 1.6 でこういったフォーマットを使用するには、以下を行ってください。

1. ファイル / インポート を選択します。インポート ダイアログが現れます。
2. カスタム タブで、新しいフォーマット をクリックします。ASCII インポートフォーマットの定義 ダイアログが現れます。
3. テキストエディタで、バージョン 1.5 の ASCIIimp.dat ファイルを開きます。
4. Trimble Geomatics Office の ASCII インポートフォーマットの定義 ダイアログ (本文フォーマット) に該当するファイルフォーマットをコピーします。
5. カスタムフォーマットで参照したフィールドコードが Trimble Geomatics Office データベースに存在しない場合には、右クリックしてショートカットメニューにアクセスしてから、適切なフィールドを選択します。
6. **OK** をクリックします。

これで Trimble Geomatics Office 1.6 ASCIIimp.dat ファイルでカスタムフォーマットが定義されました。

警告 : カスタムレポートとエクスポートフォーマットでも同じ方法を使用できます。しかし、ASCIIimp.dat や ASCIIrpt.dat、ASCIIexp.dat ファイルを Trimble Geomatics Office のシステムディレクトリにコピーすると、Trimble Geomatics Office カスタムフォーマットを上書きしてしまいます。

それは以下の状況を引き起こします。

- ソフトウェアは正しくないタブにカスタムフォーマットを書き込むようになります。
 - データベースの表と列の構造の違いのためにカスタムフォーマットは作動しないかもしれません。
 - Trimble Geomatics Office のインストールに含まれていた新しいカスタムフォーマットを失う可能性があります。
-

TDS Survey Pro (CE) サポート

Trimble Geomatics Office と TDS Survey Pro (CE) の間には以下のようなサポート問題があります。

- ・ 杭打ちレコード - Trimble Geomatics Office は TDS Survey Pro (CE) バージョン 3.5 からのラインへの杭打ちや DTM レコードへの杭打ちをサポートしません。
- ・ テンプレート補間の違い - 中間ステーションを杭打ちする計画がある場合には、異なる横断勾配かオフセットを持つ、対応する近隣テンプレート要素を補間する必要があります。Trimble RoadLink から TDS Survey Pro CE か Trimble 3600/5600 TDS 機器にエクスポートされた道路定義は TDS 製品では、RoadLink や Trimble Survey Controller で示されるものとは異なる形式で補間されます。RoadLink と Trimble Survey Controller で使用されるテンプレート補間法が TDS 製品で使用されるものとは異なるために、この違いが生じます。

例えば、ステーション 0.0 におけるテンプレート要素が 5 m のオフセットに対して -5% の横断勾配を持ち、ステーション 50.0 でのそれに対応するテンプレート要素が 10 m のオフセットに対して -10% の横断勾配を持つ場合に、道路は一定の横断面スロープを持つと仮定します。

TDS 製品は、ステーション 25.0 の横断勾配を -7.5% と計算します。それは、近隣ステーションとの補間された数値差 (-5% と -10% の間) です。

RoadLink と Trimble Survey Controller は、ステーション 0.0 でのテンプレート要素の外端から、ステーション 50.0 の外端まで、一定の傾斜を保持します。これは、ステーション 25.0 での標高が、ステーション 0.0 と 50.0 での対応する位置との保管された数値差であるという結果を引き起こします。この保管された標高を使用して計算されるステーション 25.0 での横断勾配は -8.333% です。

Trimble 3300/3600/5600 Elta サポート

このセクションでは、Trimble Geomatics Office と Trimble 3300/3600/5600 Elta® 機器に関する以下のサポート問題を説明します。

- **トラバース サイドショット** – トラバースの実行中にサイドショットを計測する場合には、3600 Elta と 5600 Elta 機器が絶対角度を保存するように（メニュー 9135 で）設定することをトリンブル社はお勧めします。トラバースの実行中に方向付けられた角度を保存する時には、Trimble Geomatics Office はサイドショットをインポートしません。
- **ステーションング** – ステーションングからのローカル縮尺係数はそれぞれ Trimble Geomatics Office にインポートされ、ステーションから観測された距離すべてに適用されます。
- **機器設定** – 以下の装置を使用する場合、尋ねられた時にはいつでも現在の設定を保存するように対応することをトリンブル社はお勧めします。

機器	以前のバージョン
3300DR	5.62
3600 Elta	1.15
5600 Elta	1.41

この設定は、メニュー 51 (3300 DR) かメニュー 917 (3600 Elta と 5600 Elta) でオンにされる必要があります。

- **ヌル ポイント名** – トリンブル社は、3600 Elta か 5600 Elta M5 ファイルを Trimble Geomatics Office にインポートする時にポイント名にヌルを使用しないようにすることをお勧めします。

取扱説明書への変更

Trimble Geomatics Office 1.6 ヘルプに以下の変更が発生していることをご了承ください。

項目	セクション	変更内容
一般 タブ	スタイル詳細の編集 ダイアログ	追加事項 アンテナのモデル このフィールドを使用して、Trimble か NGS、IFE アンテナモデルを選択します。 IFE モデルは、Trimble や NGS モデルが使用するディファレンシャル方法とは異なる方法を使用して、ハノーバー大学測地学協会 (Institute for Geodesy) によって開発されました。
標準投影 (トランスメルカトル) ダイアログ	ノート: 南方位角システム (必要であれば) と正座標の向きをも指定する必要があります。Trimble Geomatics Office ソフトウェアはこれらのフィールドを自動的に更新しません。	このノートを削除してください。

